

中間決算説明会

2008年(平成20年)3月期

株式会社ケンウッド
代表取締役社長 兼 CEO
塩畑 一男

2007年11月14日

目次

1. 2008年3月期中間決算概要
2. 2008年3月期の取り組み
3. 2008年3月期業績見通し

【ご注意】

本資料中の将来への見通しに関する記述・図表などは、当社グループが現時点で入手可能な情報から得た判断に基づく将来の予想および目標であり、実際の結果は、様々な要素により、これらの見通しとは大きく異なる可能性があります。

【資料中の略語】

CE:カーエレクトロニクス COM:コミュニケーションズ HE:ホームエレクトロニクス

1. 2008年3月期中間決算概要

1. 2008年3月期中間決算概要 **連結損益**

売上高、営業利益はおおむね期初予想通り

売上高 各セグメントとも期初予想通りで、前期比約40億円増(4.9%増収)

営業利益 想定外費用の影響により期初予想比約2億円(6.6%)のマイナスで、前期比約6億円減(17.9%減益)

経常利益 期初予想比約1億円(5.3%)のプラスで、前期比では約3億円減(15.8%減益)

中間純利益 期初予想比約2億円(20.9%)のプラスで、前期並み

連結PL

(億円)

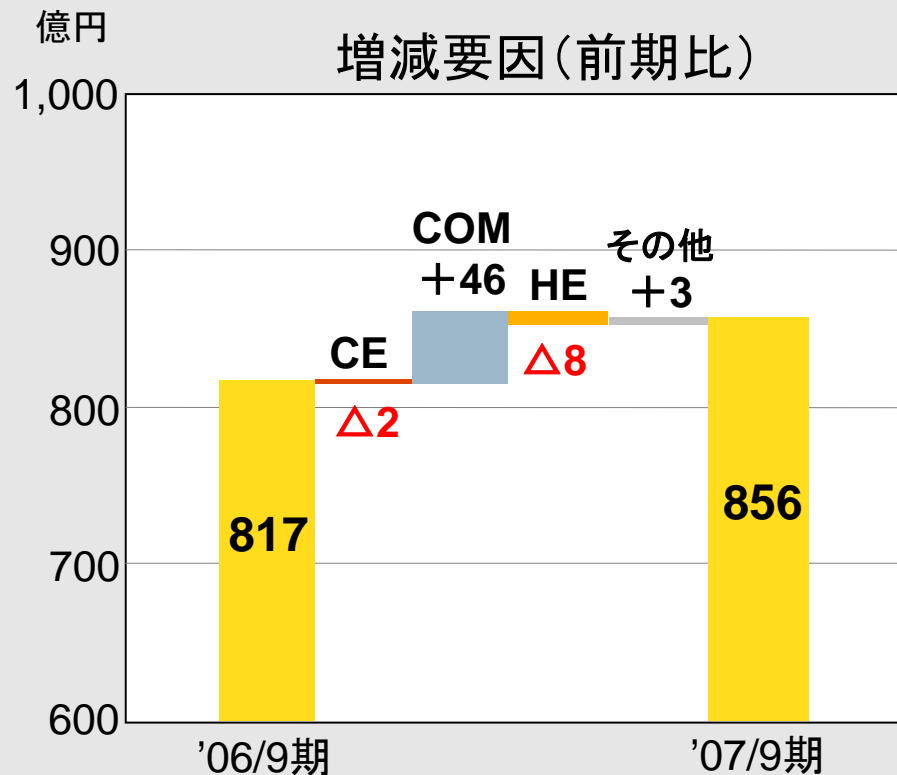
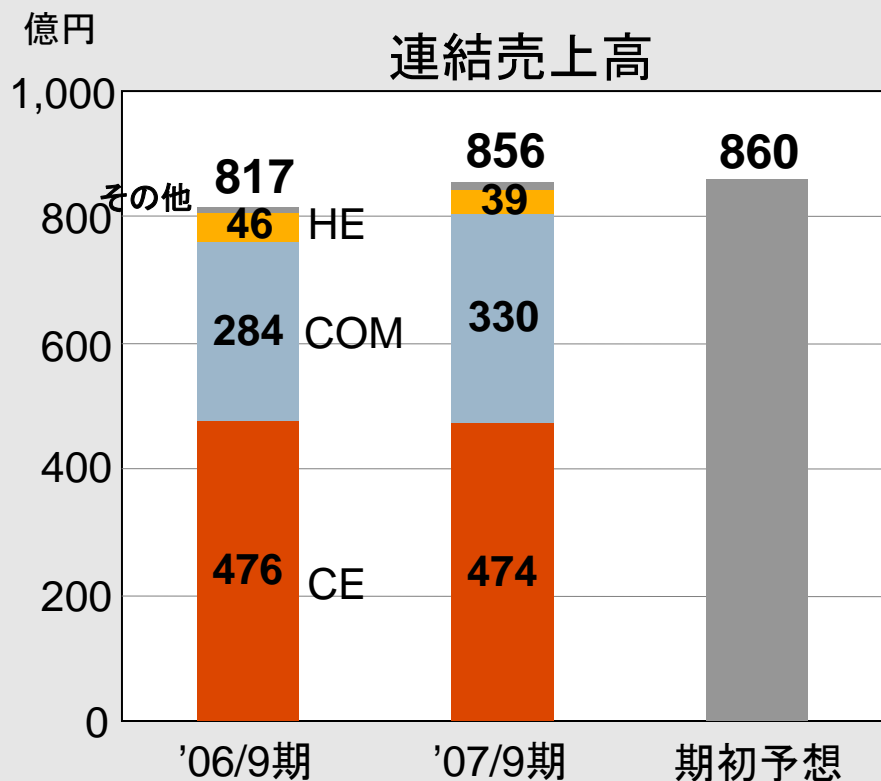
	'06/9期実績		期初予想		'07/9期実績		前期比		期初予想比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	率	金額	率
売上高	817		860		856		40	4.9%	△4	△0.4%
営業利益	32	3.9%	28	3.3%	26	3.1%	△6	△17.9%	△2	△6.6%
経常利益	19	2.3%	15	1.7%	16	1.8%	△3	△15.8%	+1	5.3%
中間純利益	13	1.5%	10	1.2%	12	1.4%	△0	△3.5%	+2	20.9%

1. 2008年3月期中間決算概要 連結売上高

おおむね期初予想通り、前期比4.9%増収

* CE事業は、OEMの売上減少を市販の売上増加がカバーし、前期並み

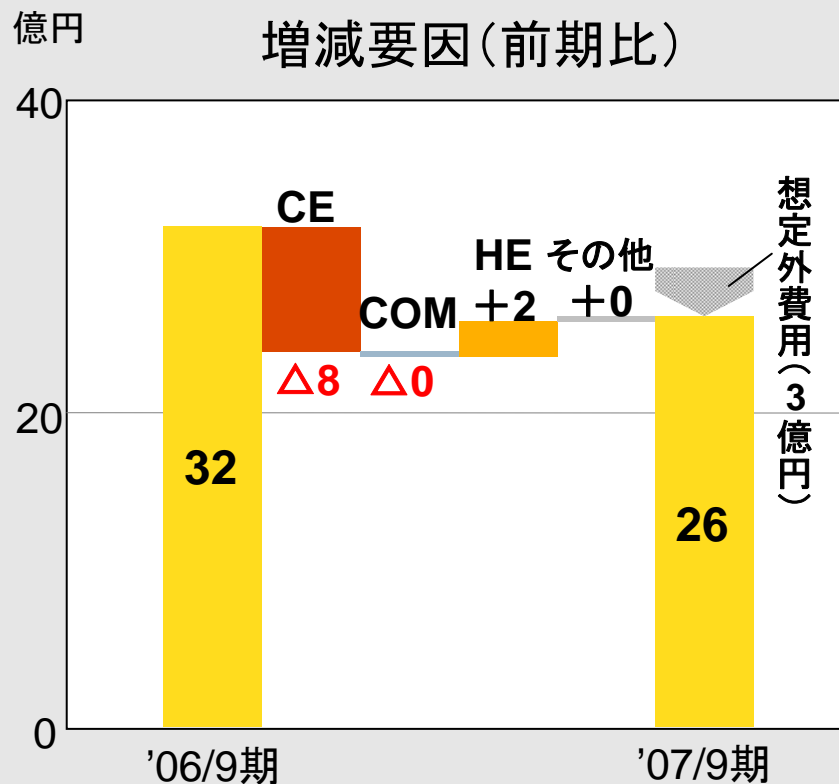
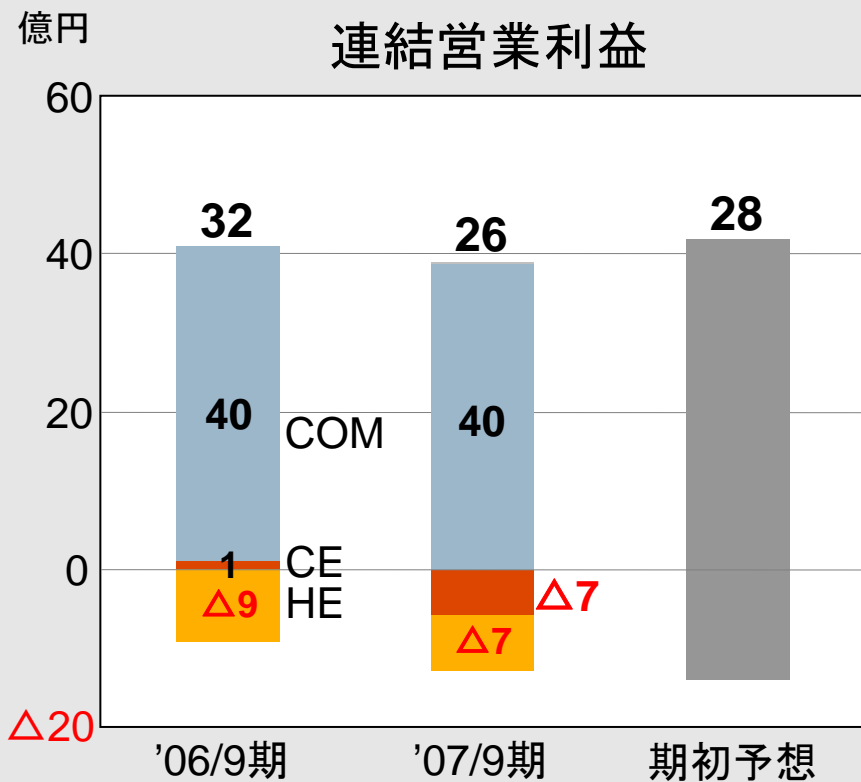
* HE事業の売上減少をCOM事業の売上拡大が大きく上回り、全社では増収



1. 2008年3月期中間決算概要 連結営業利益

期初予想比約△2億円、前期比17.9%減益

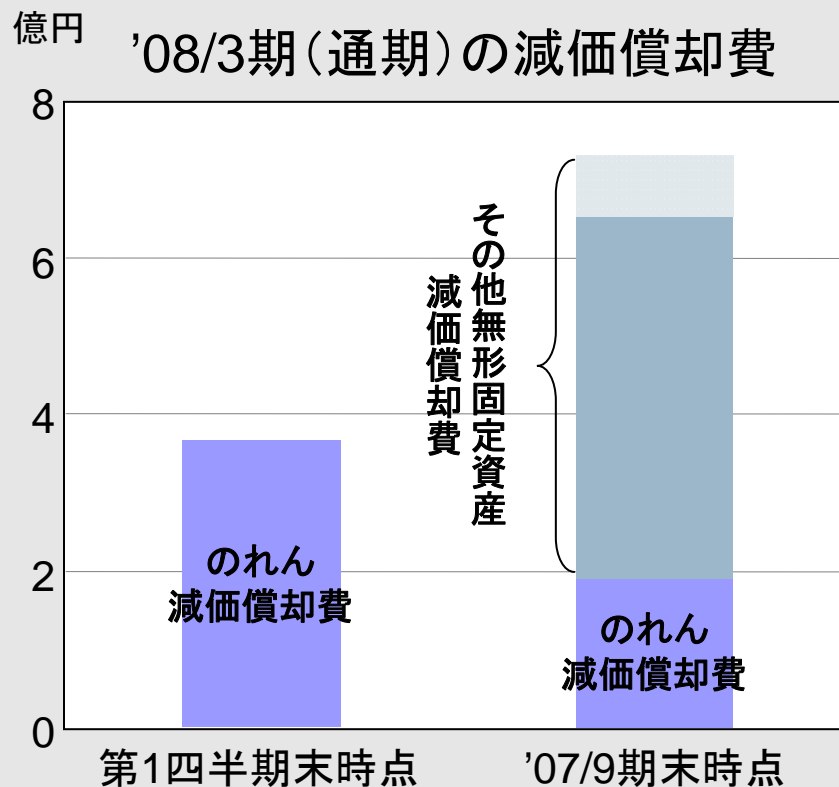
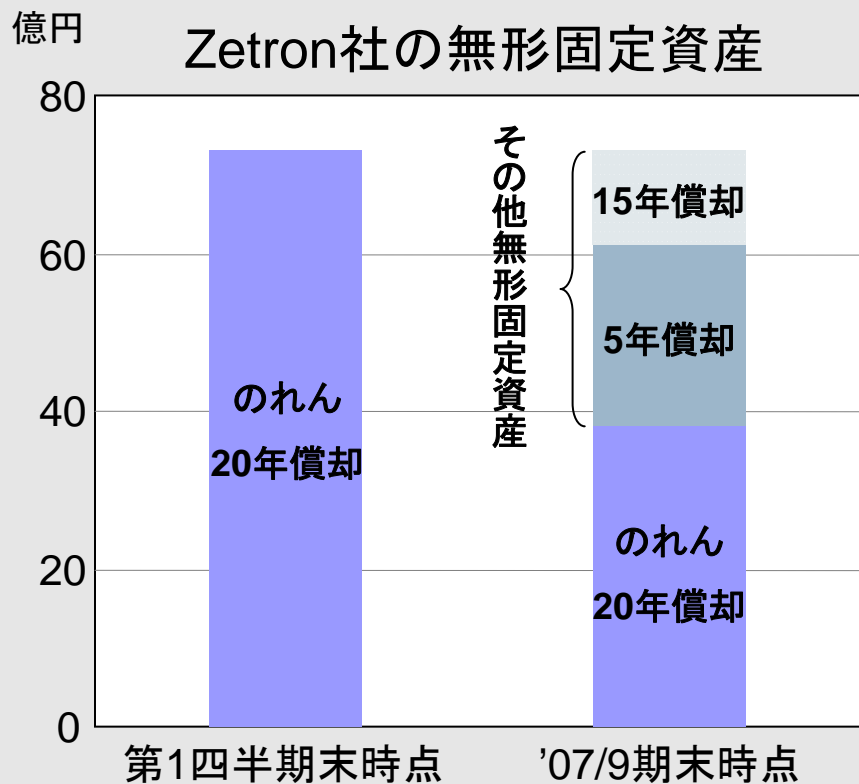
- * CE事業では、市販の収益拡大をOEMの損益悪化が相殺し、減益
- * COM事業は、想定外費用を携帯電話機販売の収益拡大が吸収し、前期並み
- * HE事業は、戦略転換の効果で損失縮小



1. 2008年3月期中間決算概要 営業利益の未達要因

期初予想比約△2億円は想定外費用の影響

- ① Zetron社の無形固定資産の減価償却費約2億
→ およそ半分の償却期間を短縮したため、当期の減価償却費は増加
- ② 日本ビクター関連諸費用約1億円

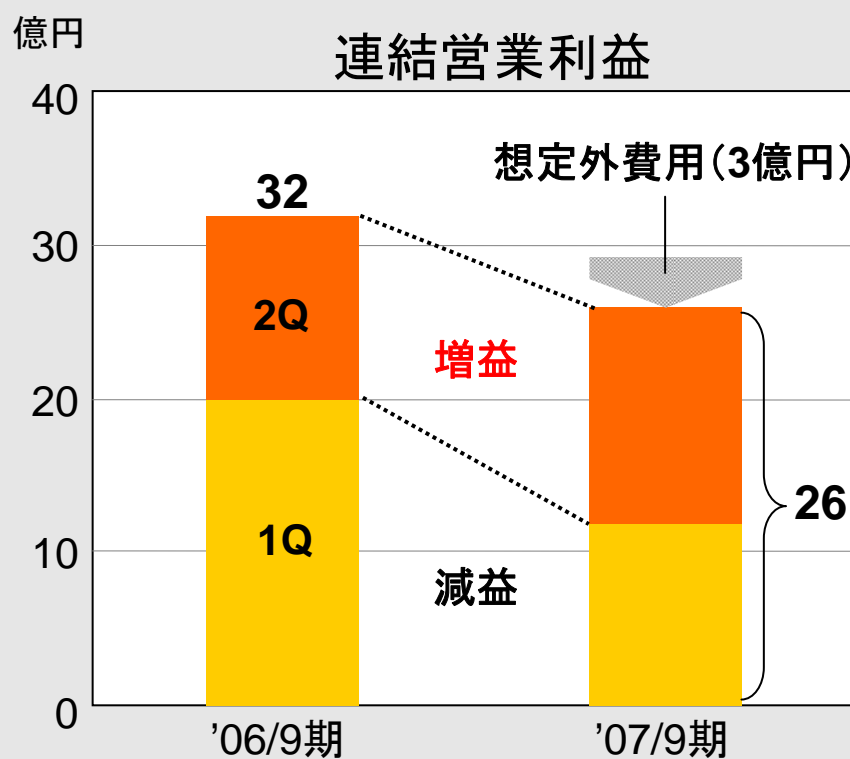
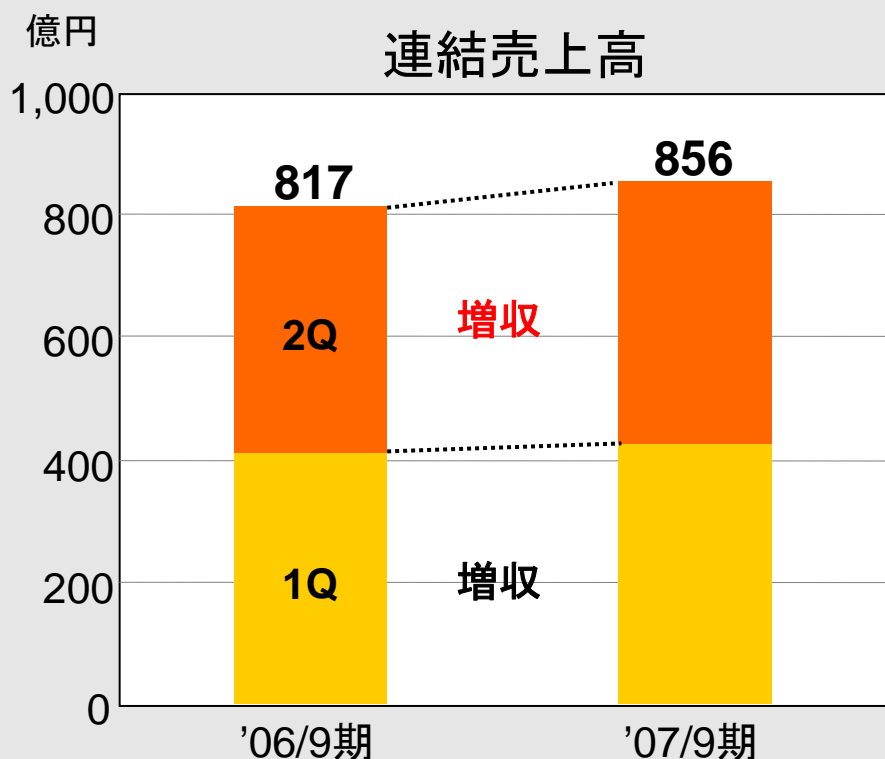


1. 2008年3月期中間決算概要 四半期別損益

第2四半期は増収増益

* Zetronの子会社化の効果に加え、前期の戦略開発や販売拡大、収益回復などの諸施策の成果が顕在化

* 第1四半期(1Q)の増収減益から、第2四半期(2Q)は増収増益に

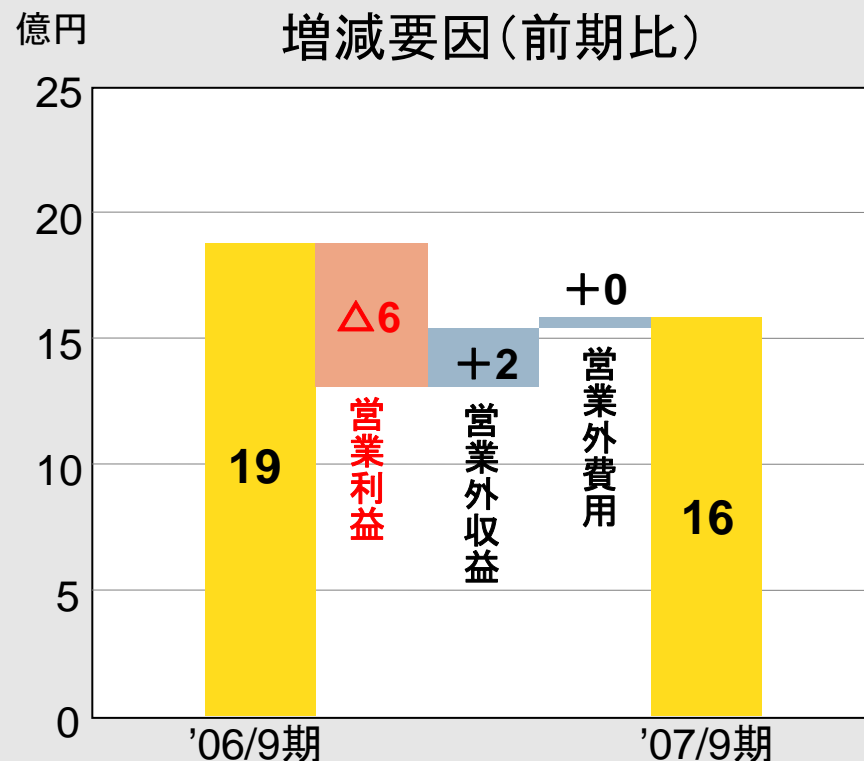
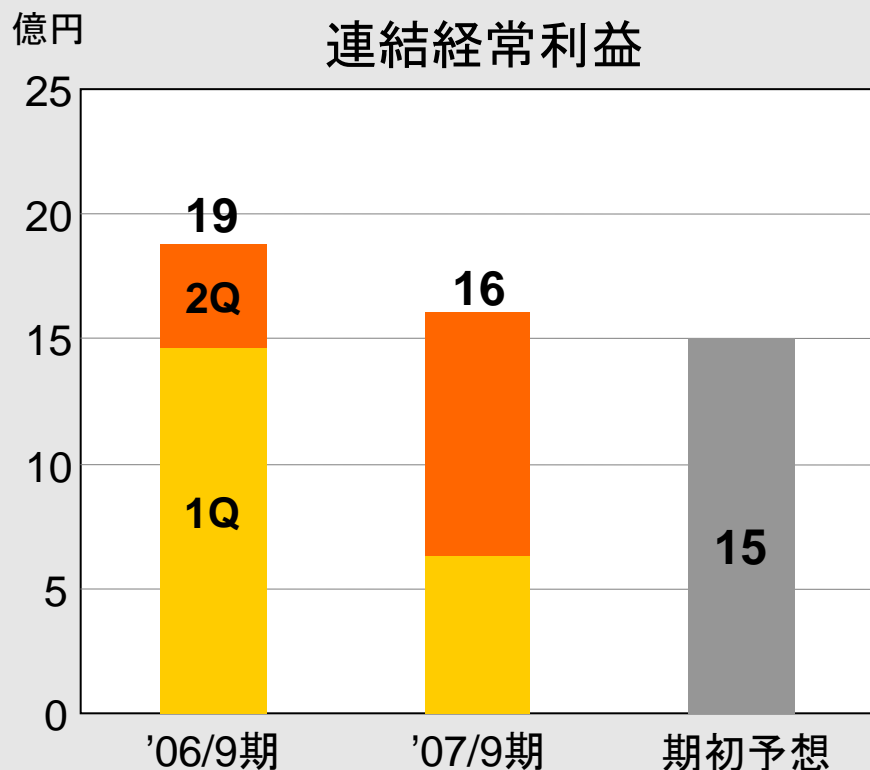


1. 2008年3月期中間決算概要 **連結経常利益**

期初予想比約+1億円、前期比15.8%減益

* 想定以上の営業外収益で期初予想は上回った

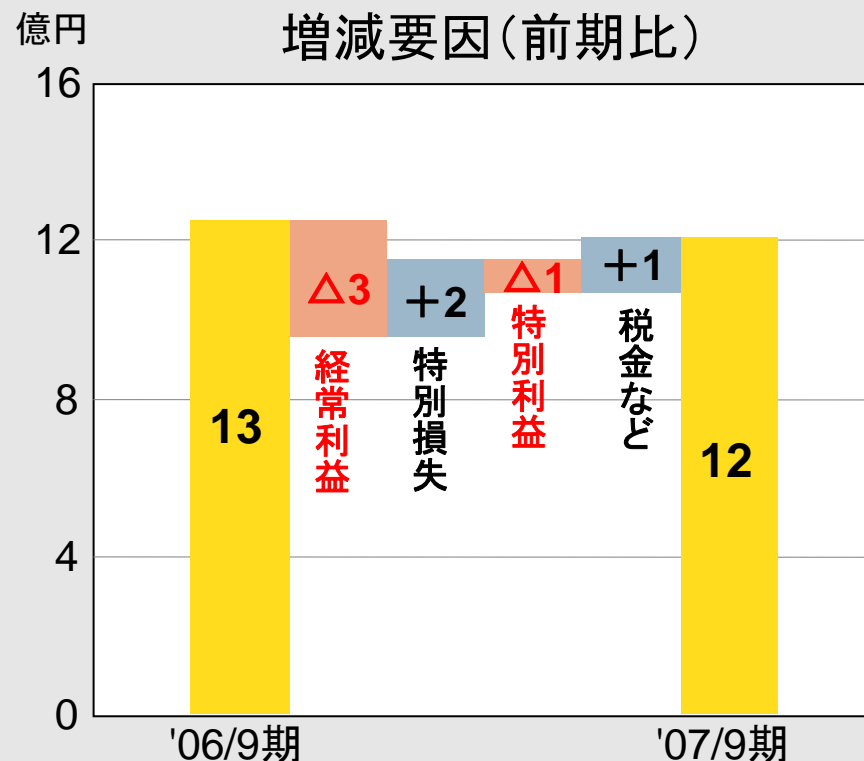
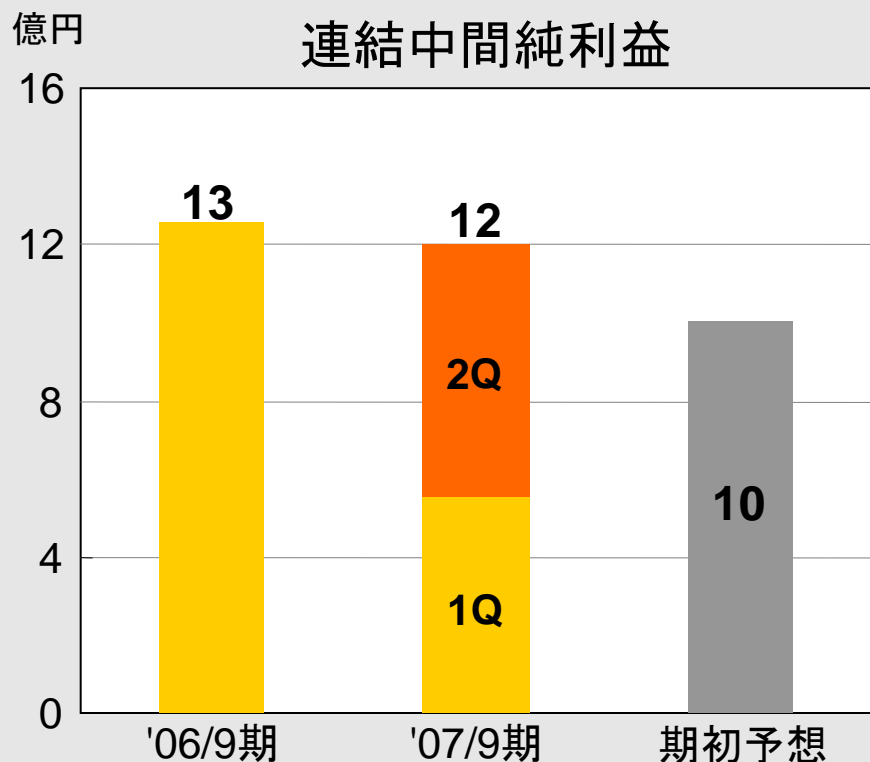
* 営業減益の影響で前期比では減益



1. 2008年3月期中間決算概要 **連結中間純利益**

期初予想比約+2億円、前期比3.5%減益

- * 経常利益が期初予想を上回り、中間純利益も期初予想を上回った
- * 前期の特別損失(役員退職慰労金引当)が当期は発生せず、前期並み



1. 2008年3月期中間決算概要 財政状態

バランスシート(前期末比)

* Zetron社の子会社化や第三者割当増資引受により総資産は増加したが、投資有価証券の株価下落の影響で純資産は減少

* 有利子負債・ネットデットは、金融機関からの資金調達により増加

(億円)

	'06/9期末	'07/3期末	'07/9期末	'07/3期末比
総資産	1,059	1,112	1,347	+235
純資産	382	391	346	△44
利益剰余金	188	191	196	+5
自己資本比率	36.0%	35.1%	25.7%	△9.4%
有利子負債	258	238	538	+301
ネットデット	104	68	356	+288

セグメント情報

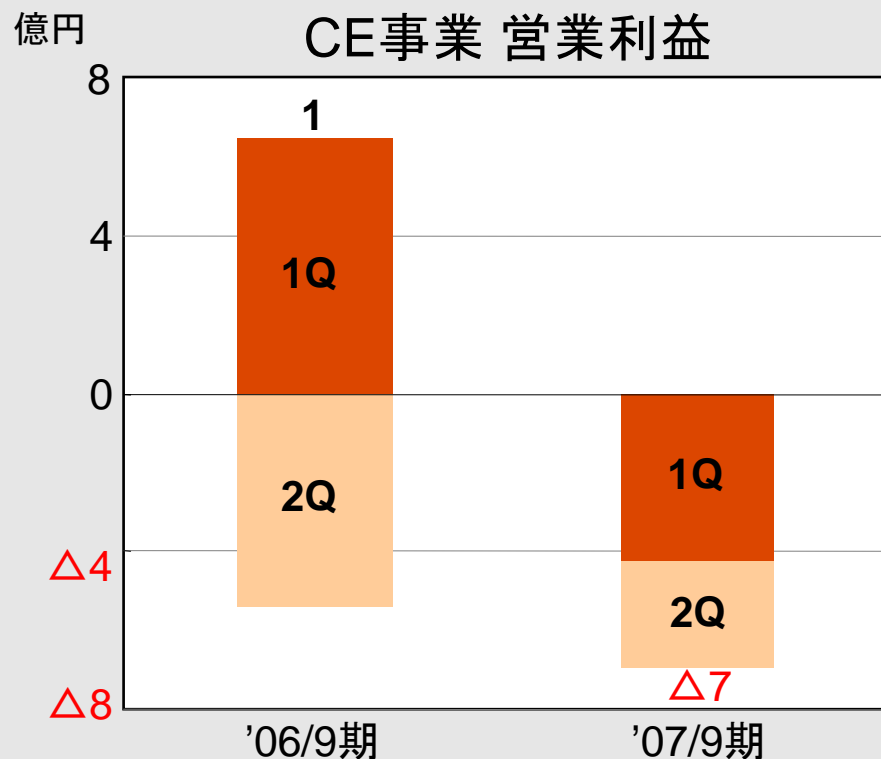
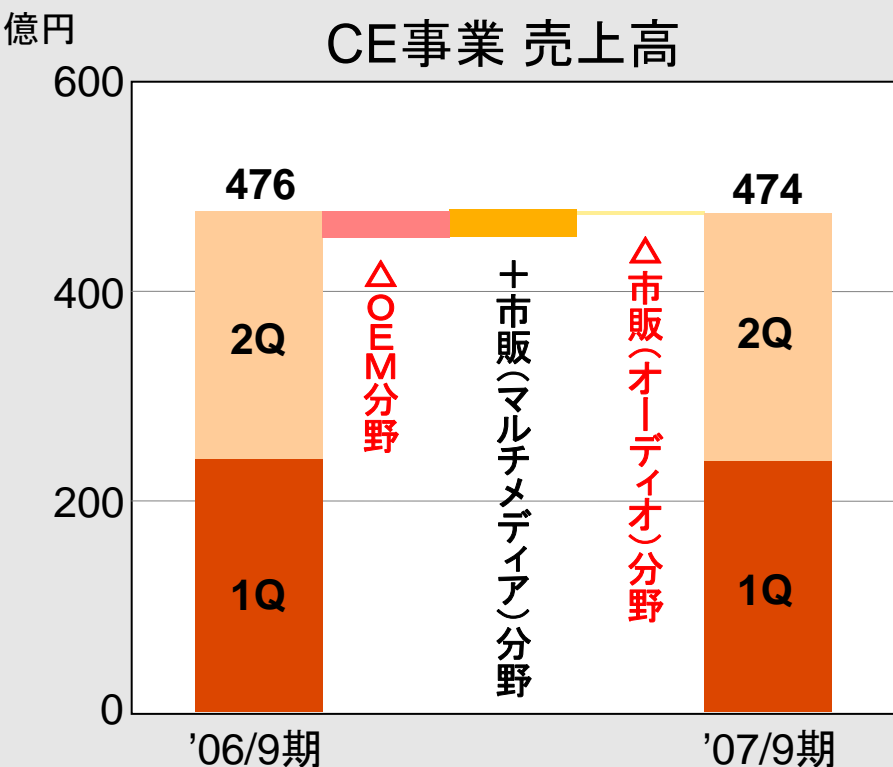
1. 2008年3月期中間決算概要 **CE事業**

【売上高】 前期比0.4%減収の約474億円

- * OEMの売上減少を市販(マルチメディア)の売上増加でカバー
- * 市販(オーディオ)は前期並みで、事業全体ではおおむね期初予想どおり前期並み

【営業利益】 前期比約8億円減益の約△7億円

- * 市販(オーディオ)の収益悪化を市販(マルチメディア)の損益改善でカバー
- * OEMの損益悪化により、事業全体の損益は期初予想を若干上回ったものの減益



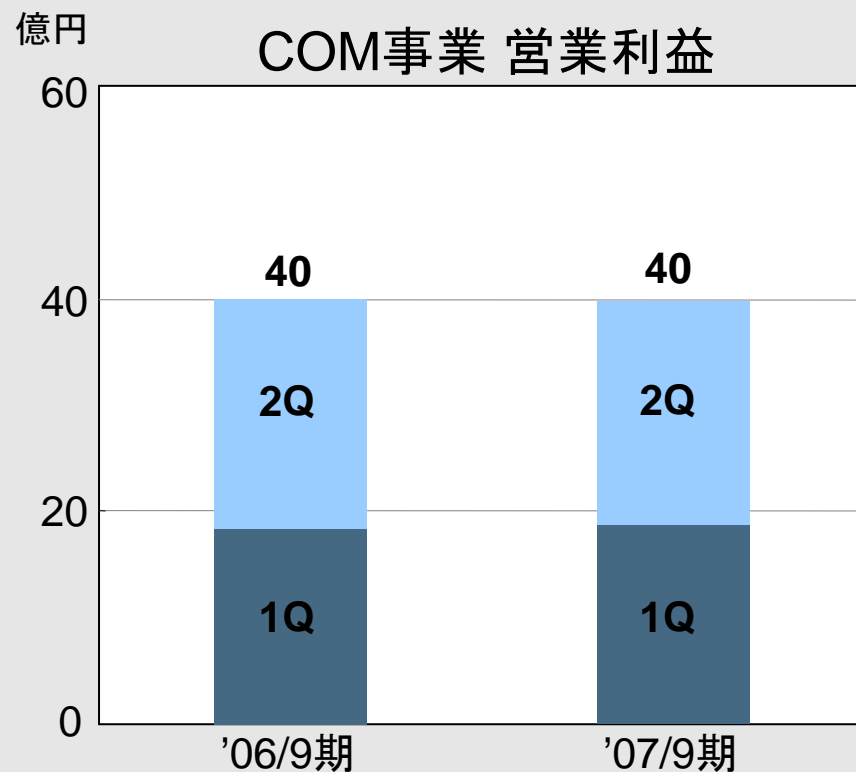
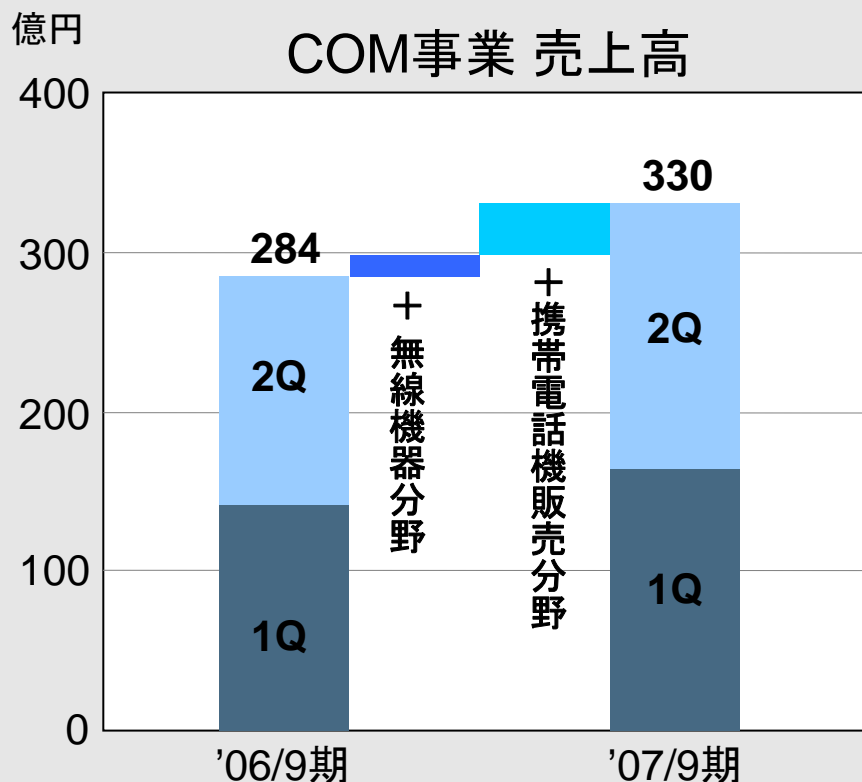
1. 2008年3月期中間決算概要 **COM事業**

【売上高】 前期比16.2%増収の約330億円

* Zetron社の子会社化、携帯電話機販売の売上増加により、期初予想どおり増収

【営業利益】 前期比0.7%減益の約40億円

* 無形固定資産の減価償却費が想定を上回った影響から期初予想は若干下回ったものの、携帯電話機販売の収益拡大により、前期並み



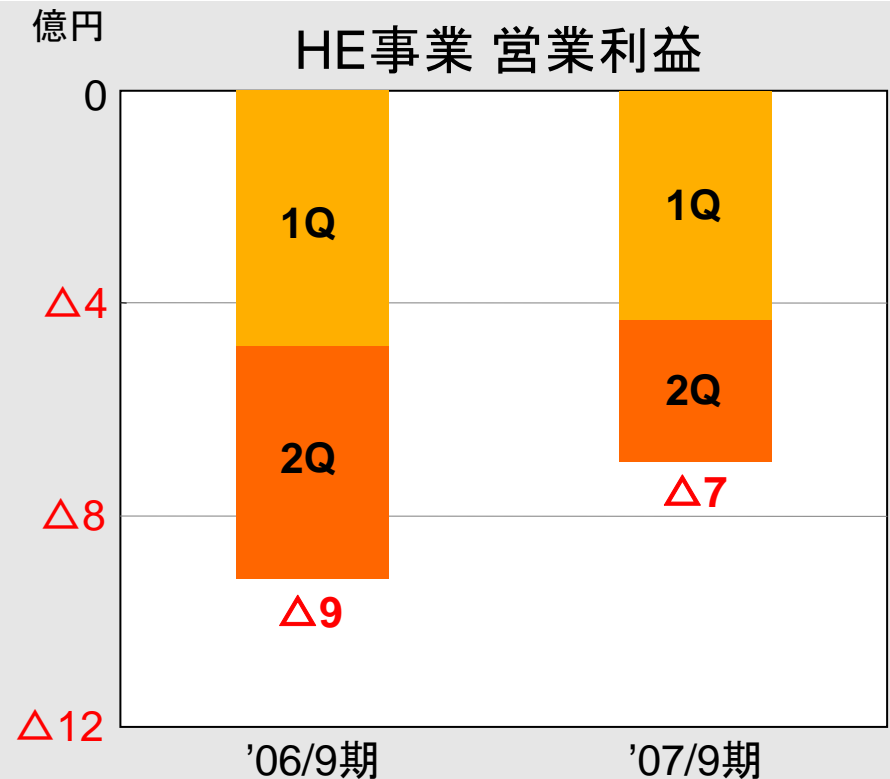
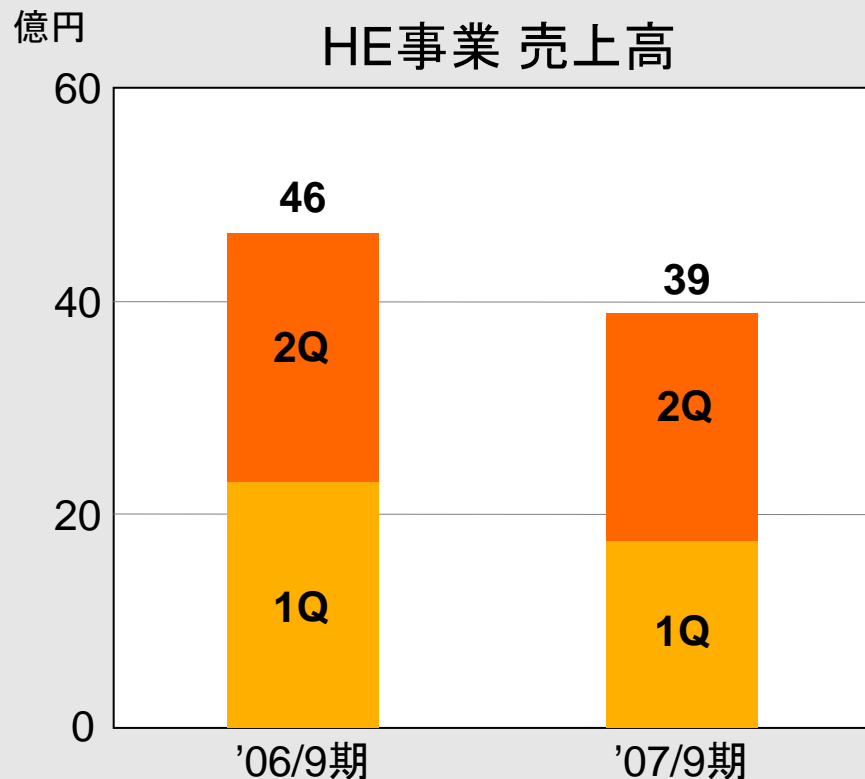
1. 2008年3月期中間決算概要 **HE事業**

【売上高】 前期比16.3%減収の約39億円

* 前期に実施した戦略転換の影響により、おおむね期初予想どおりながらも減収

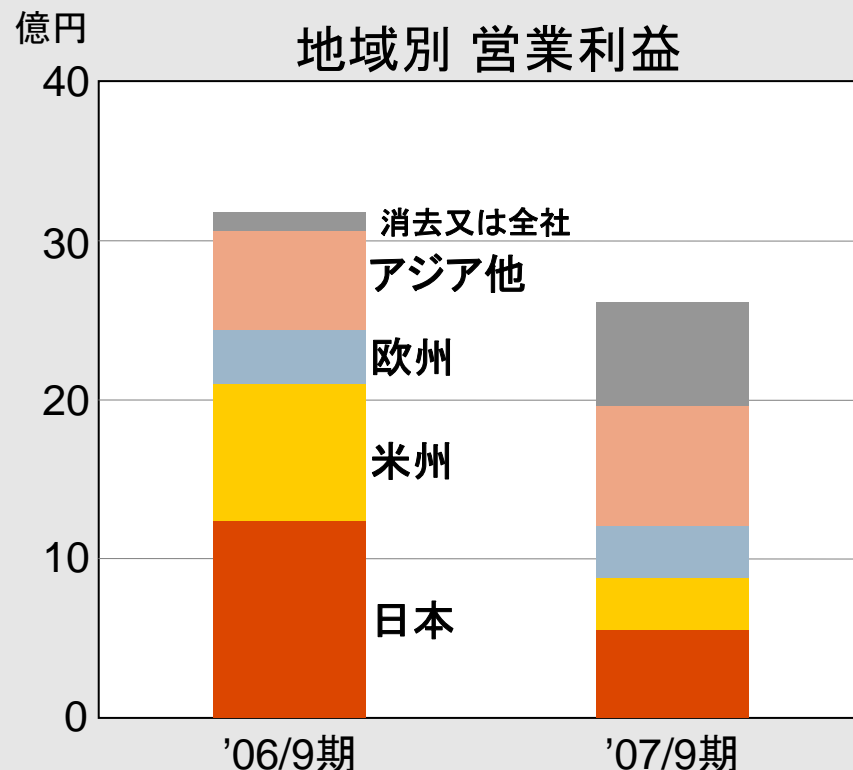
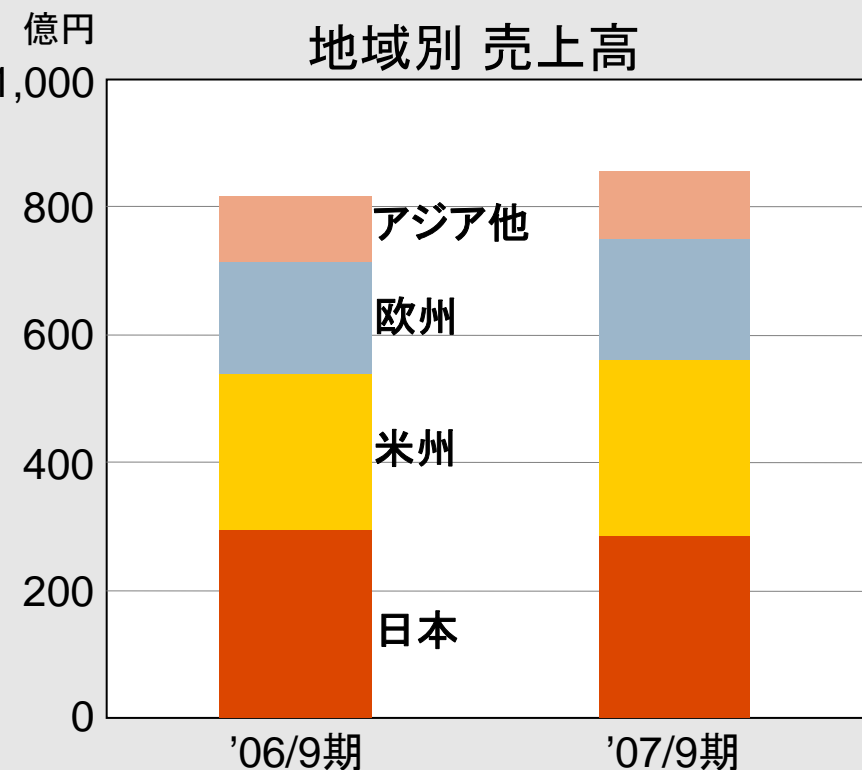
【営業利益】 前期比約+2億円の約△7億円

* 戦略転換による損益改善で、おおむね期初予想どおり損失縮小



1. 2008年3月期中間決算概要 地域別損益

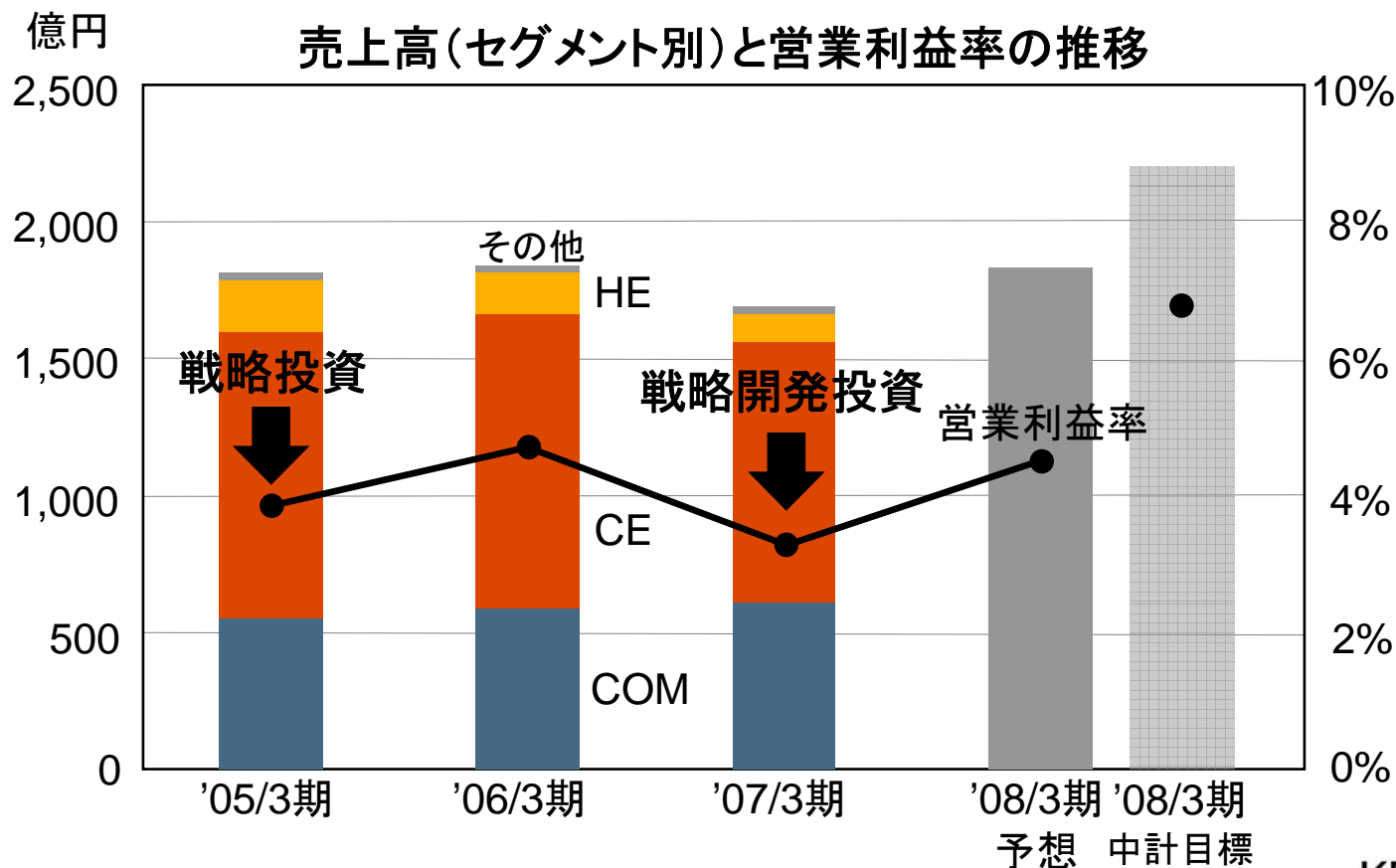
- 米州** CE事業市販(マルチメディア)とCOM事業が拡大、CE事業市販(オーディオ)の収益悪化により、増収減益
- 欧州** CE事業市販(マルチメディア)の拡大により、増収増益
- 日本** COM事業携帯電話機販売が拡大したものの、CE事業OEM、HE事業の売上減少で相殺、CE事業OEMの収益悪化により減益



2. 2008年3月期の取り組み

2. 2008年3月期の取り組み

中期経営計画「バリュー・クリエーション・プラン」最終年度
COM事業は一年前倒しで目標達成も**CE事業**と**HE事業**は大幅未達
 →'08年3月期は戦略開発や事業提携、M&Aなどの施策の成果を顕
 在化させ、**増収増益**へ



(1) 現行事業の再構築と成長に向けた取り組み

2. 2008年3月期の取り組み

CE事業—市販(オーディオ)分野

* コストダウンと高付加価値化をはかった2008年新製品群の投入

* BRICsを中心とした新興市場開拓



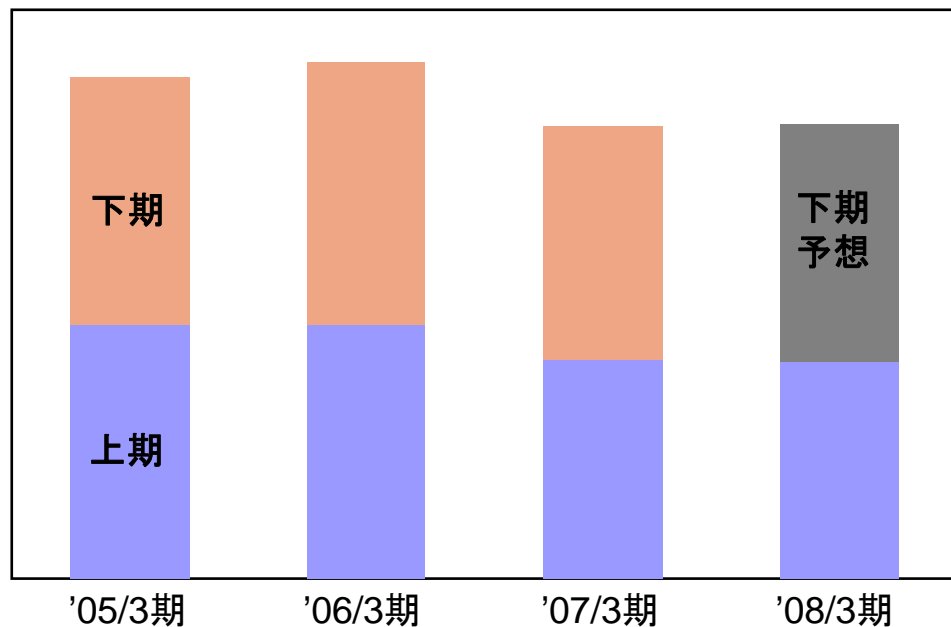
デジタルメディアとのシームレス化
を進めた高付加価値モデル



carportal
EXPANSION SOLUTIONS™

純正AV製品の機能拡張を可能にするシステム

連結売上高の推移



2. 2008年3月期の取り組み

CE事業—市販(マルチメディア)分野

- * 海外向けナビの販売拡大
- * 国内向け地デジ／ワンセグTVチューナー、AV一体型ナビの販売促進
- * 独ボッシュグループとのポータブルナビの共同開発('08年商品化予定)



国内向けAV一体型ナビ
(ワンセグTVチューナー搭載)



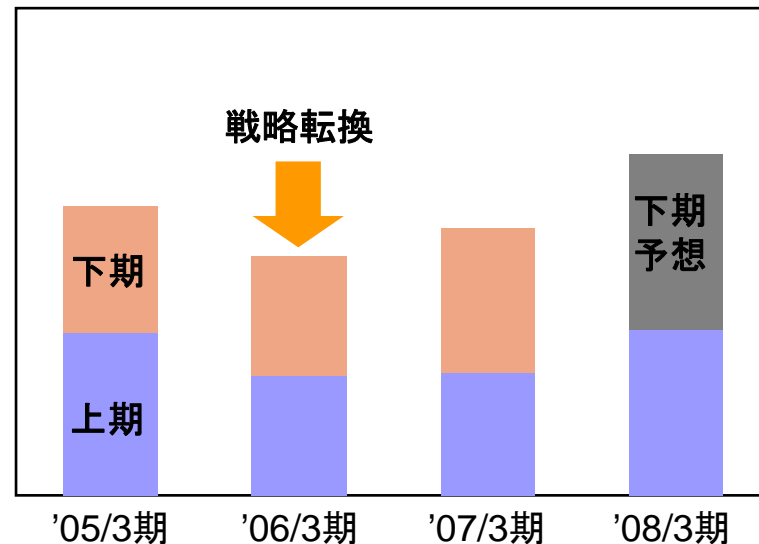
国内向けAV一体型ナビ
(地デジTVチューナー付属)



海外向けナビ
(左: アドオンタイプ、右: オールインワンタイプ)



連結売上高の推移



2. 2008年3月期の取り組み

CE事業－OEM分野

- * 純正モデル新製品の投入
- * ディーラーオプションモデルの販売拡大
- * DVD/CDドライブメカの大量出荷開始



純正モデル



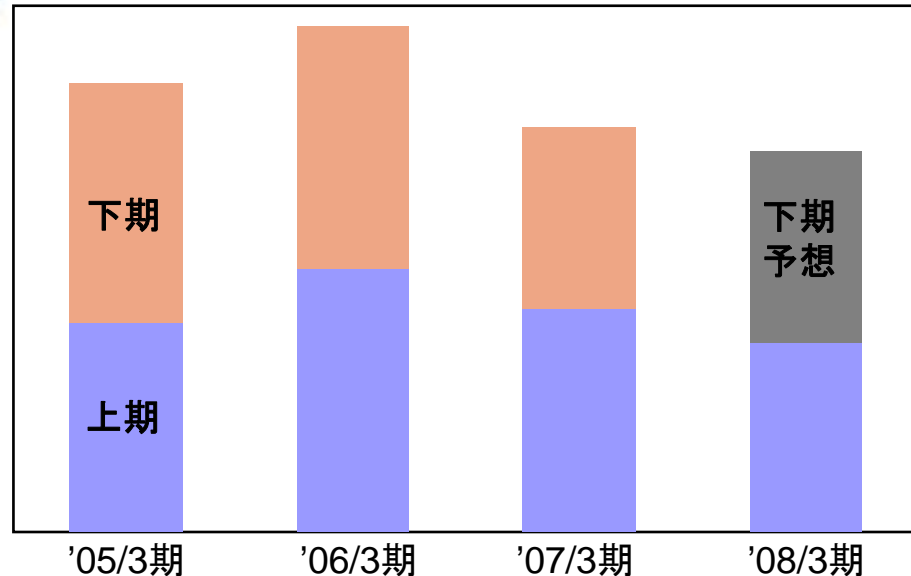
DVDメカ



軽自動車・小型車向け
メモリーナビ内蔵CDレシーバー
(ディーラーオプションモデル)



連結売上高の推移



2. 2008年3月期の取り組み

COM事業

- * デジタル業務用無線機器の市場投入拡大
- * Zetron社を中心とした無線システム事業の拡大(無線システム事業部の発足)
- * 新デジタル無線方式に関する研究開発の推進
- * 携帯電話機販売の拡大



デジタル業務用無線機器



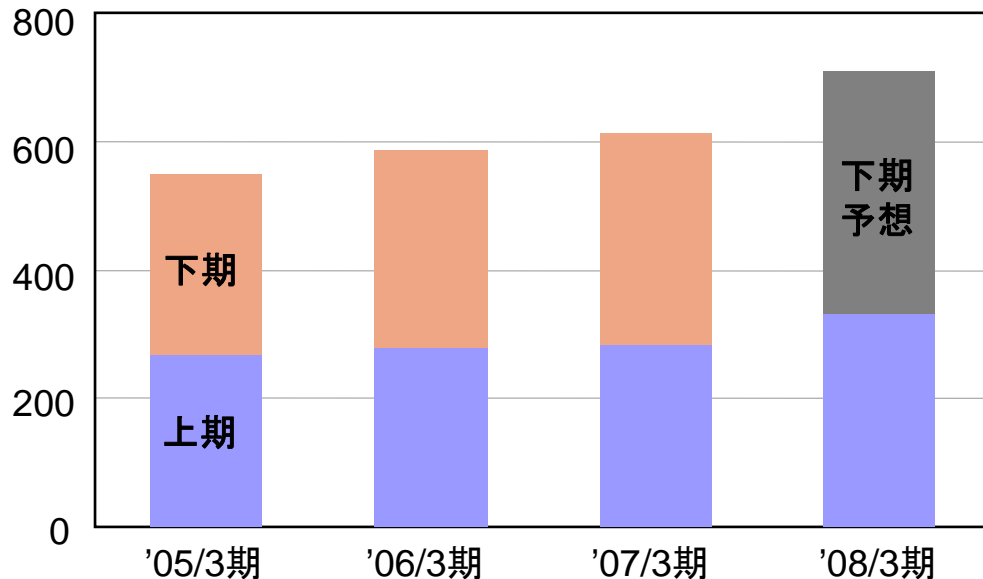
コンソール



コントローラー

億円

連結売上高の推移



2. 2008年3月期の取り組み

HE事業

- * 新プレミアム製品群のラインアップ拡大(ロングテール戦略)
- * 欧州・オセアニア向け新製品群の投入
- * 携帯用、家庭用、車載用機器のシームレス化推進による「シームレス・エンターテイメント」の具現化推進



セパレートコンポーネントクオリティを実現した「K1000シリーズ」



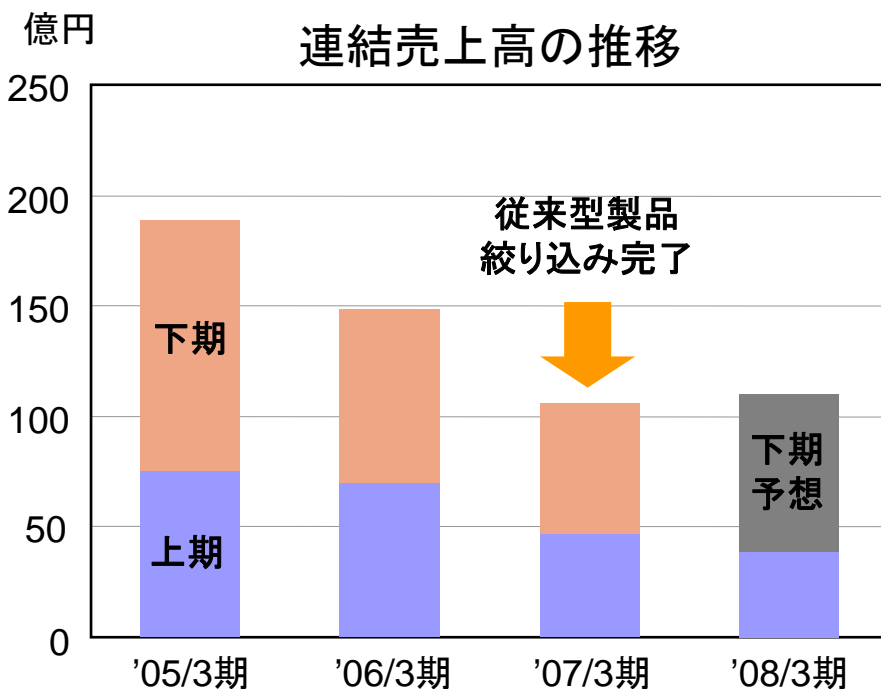
音楽も映画も高音質で楽しめるAVコントロールセンター



高音質ポータブルHDDプレーヤー(右はECショップ限定モデル)



楽曲の高音質伝送が可能なデジタルワイヤレスシステム



(2) 事業提携やM&Aによる成長戦略

2. 事業提携やM&Aによる成長戦略 **COM事業**

米国無線通信システム事業会社Zetronの子会社化('07/5/10)

無線端末から無線システムソリューションへ事業領域を拡大

【シナジー効果】

- * 両社によるターンキーシステム(無線通信トータルシステム)の受注拡大
- * Zetron製無線通信システムへのケンウッド製無線端末の供給増加

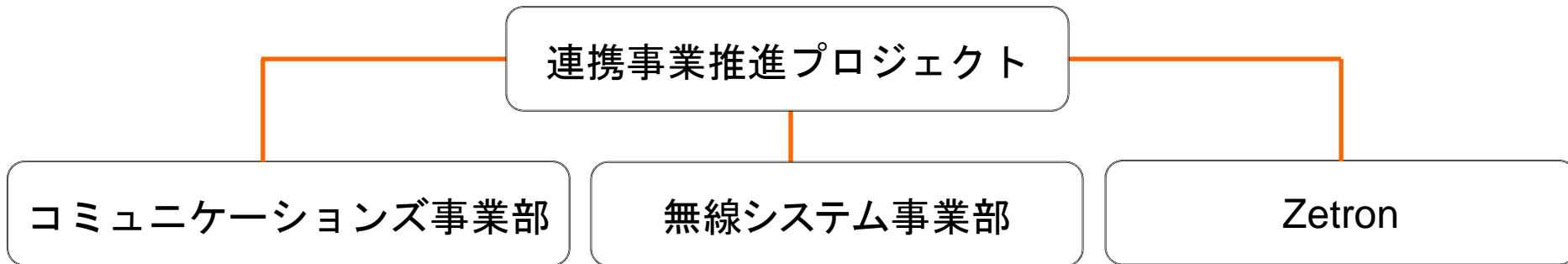
基地局システム(一例)



2. 事業提携やM&Aによる成長戦略 **COM事業**

無線システム事業部の新設('07/10/1)

- * 米、欧、日・亜・豪の3極体制による無線事業の拡大
- * 東洋通信機株式会社(現エプソントヨコム株式会社)から譲り受けた官公庁向け無線システム事業の強化
- * ケンウッド・コアのRFID*事業の強化 など



*RFID…Radio Frequency Identification(非接触IDタグシステム)

2. 事業提携やM&Aによる成長戦略 **COM事業**

事業提携によるデジタル業務用無線機器事業の強化

- * アイコム株式会社との資本業務提携の成果
- * 欧州無線会社との提携(dPMR* MoU Group)による欧州向けデジタル業務用無線規格の制定
- * EADS社グループとの連携によるデジタル業務用無線機器の販売拡大

*dPMR・・・Digital Private Mobile Radio

(3) 日本の専門メーカー再編に向けた取り組み

日本ビクターへの出資と戦略的業務提携

日本の専門メーカー再編への第一歩

- * デジタル化の波の中でグローバル競争激化
- * 日本のコンシューマーエレクトロニクス産業、専門メーカーの存在感の薄れ
- * 成熟産業の構造改革の最後の大仕事が専門メーカー再編
第一ステップ

構造改革への出資と戦略的業務提携

第二ステップ

経営統合

日本の専門メーカー再編へ

日本ビクターへの出資と戦略的業務提携

第一ステップ

資本業務提携を締結（'07/7/24）し、
スパークス・グループとともに350億円を出資（'07/8/10）

(1) 日本ビクターの構造改革支援

- * 構造改革への出資（200億円）
- * ケンウッド再建の経験からのアドバイス

(2) 戦略的業務提携

～市販カーオーディオで世界No.1、HE事業の黒字化へ

- * カーエレクトロニクス、ホーム／ポータブルオーディオ事業でシナジー効果を追求

日本ビクターへの出資と戦略的業務提携

第一ステップ 戦略的業務提携によるシナジー効果

ケンウッド2/3の事業領域で提携～共同開発、生産・調達での協業、ITインフラの共同開発、知的財産権の相互利用

* 市販カーオーディオで世界No.1へ～オーディオは1,000億円規模に倍増、マルチメディアとOEMを合わせて1,600億円規模

* HE事業は黒字化へ

'07/3期売上構成



日本ビクターへの出資と戦略的業務提携

第一ステップ 共同技術開発JVの設立

市販カーマルチメディアでも世界トップクラスを目指す
対等出資によりJ&Kテクノロジーズを設立し、
130人体制で共同開発を開始('07/10/1)→具体的協業をスタート

【共同開発テーマ】

- * ナビ・エンジン→両社ナビ販売台数を早期に100万台規模へ
- * カーマルチメディア・プラットフォーム、地デジTVチューナーなど
- * カーオーディオおよびホームオーディオのプラットフォーム
- * デバイス(CD/DVDドライブ、BDドライブなど)

【生産・調達の協業】

- * 当社カーオーディオの生産を日本ビクター・インドネシア工場へ委託
- * 日本ビクター中国向けカーマルチメディア／オーディオの生産を上海工場を受託予定 など

日本ビクターへの出資と戦略的業務提携

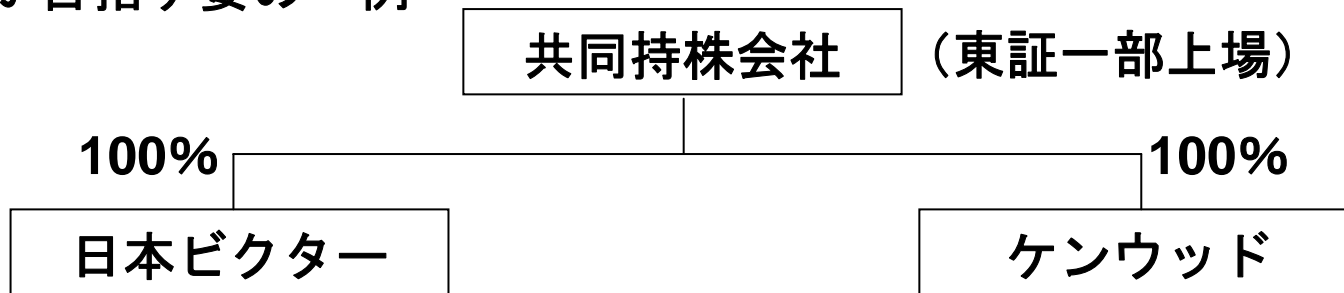
第二ステップ 経営統合に向けて

- * 対等の精神での経営統合を目指す～両社経営の安定を見届けて
- * 日本の代表的な二つのブランドのもと、市場におけるイニシアティブを強化し、中長期的な企業価値創造・拡大へ



業界再編による日本の専門メーカーの勝ち残りへ

両社が目指す姿の一例



3. 2008年3月期業績見通し

3. 2008年3月期業績見通し **連結損益**

CE事業OEM分野における主力純正モデルの販売動向や日本ビクターとの経営統合に向けた諸費用が懸念材料ながら、以下の要因から通期業績予想は従来どおり

【下期の業績拡大要因】

- * 前期の諸施策の成果が徐々に顕在化
- * CE事業市販分野における第4四半期の最大商戦
- * Zetron社の売上・収益拡大

連結PL

(億円)

	'06/3期実績		'07/3期実績		'08/3期予想		前期比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	率
売上高	1,836		1,692		1,830		+138	+8.2%
営業利益	87	4.7%	56	3.3%	83	4.5%	+27	+47.8%
経常利益	49	2.7%	23	1.4%	50	2.7%	+27	+113.8%
当期純利益	61	3.3%	16	0.9%	40	2.2%	+24	+152.2%



KENWOOD

Listen to the Future